



市長と

車座トーク

第48回 西深津学区（概要）



開催日時 2017年（平成29年）12月18日

19:30～20:30

開催場所 西深津公民館

参加人数 10人

次 第 市長のあいさつ

意見交換

地域からまとめのあいさつ



＜車座トークでの主な意見＞

- ・西深津学区まちづくり推進委員会は、公立、私立の学校や、社会福祉法人を含む39団体で構成されており、町内会で出た意見をまちづくり計画に集約し、具体化するために各団体で頑張っている。
- ・西深津学区には13町内会自治会があるが、加入率は決して高くない。今年は、深津市営住宅3号棟で全戸加入していただき、13番目の町内会が発足した。また、10年前にも新興住宅地で、業者との連携によって全戸加入を果たし、12番目の自治会となった。学区としては春に運動会、夏は盆踊り、秋は文化祭、冬はもちつき、とんどをするなど、3世代交流を図っているが、若年層の参加は難しいのが現状。町内会の未加入者の大体はアパート、マンションに住まわれている。行政と地域とが連携をして、加入促進策等が出来れば良いと思っているが、特効薬があれば教えてもらいたい。
- ・青年層の加入促進のために、企業に対して、地域での役割を援助するよう協力を呼び掛けて欲しい。時間が取れず、地域行事への参加が難しい方も、支援すれば参加しやすくなるのではないかな。
- ・民生委員として地域のつながりを大事にしたいと思い、週1回、75歳以上の方の安否確認に行く際

- に、町内会に入っていない人に参加を勧めている。一人暮らしだが町内会には入っている「孤独」と、入っていない「孤立」は異なる。孤立している方はいつどうなるかわからない。市長が町内会加入を促すキャンペーンをされているが、町内会加入への呼びかけを重点的にやってもらいたい。また、おでかけ乗車券とあんま券を交付していただいているが、金額が少ない。もう少し増やしてもらいたい。
- ・女性会は、75歳以上の一人暮らしの方の訪問や、登校児童への朝の声掛け運動をしている。その中で、西深津町四丁目の病院付近の三叉路になっている場所で車の走行が多く、子どもが待つ場所がないことが気にかかっている。児童が通学する時間帯だけでも車の通行に時間差をつけるなどの取組ができればありがたい。半年前に市に言ったが、音沙汰がない。
 - ・体育会では、3世代参加で春の運動会をしてまちを盛り上げている。年間を通しても様々な種目のスポーツ大会をしているが、若い方をどう勧誘するかが課題である。他には、小学生対象のグラウンドゴルフ大会や、ごみを拾いながら蔵王山を登るクリーンハイキングなどを行っているのだが、桜の木が多く枯れている。地域で消毒などもしている。
 - ・小学校の運動場と体育館が町民の文化交流、スポーツ交流に重要なのだが、体育館の床面が滑りやすいと指摘を受けた。安心安全の観点からも見直して欲しい。
 - ・老人会では、交通事故と特殊詐欺についての講習会や、簡単なゲームをするふれあい体育祭を開いたり、小学校の子どもとの交流会や土曜クラブの取組をしたりしている。要望事項だが、老人会は年に大きな行事として福祉大会やシルバーピックをやっている。そこで、市長に出席の案内を出しているが、市長は公務が大変忙しいからということで、代理の方の出席でごあいさついただいている。忙しいことは重々承知だが、高齢者が何をしているのか、見に来てもらいたい。
 - ・福山市立大学が港町に出来ているが、運動場がない。新設のために、学識経験者を集めて選定をしたと思うが、今頃の大学には運動場は必要ないのか。本庄に行けば、広い場所があるから十分だという考えもあるだろうが、学生が本庄の学校へ行くにも、バス運転手が必要で、それは税金で運営するものだと思うが、どんな考えで実施したのかお聞きしたい。
 - ・西深津学区では学区内のパトロールを行っている。それから全市一斉防災訓練にも学区として参加した。また、来年の2月には、学区の自主防災訓練を予定している。地域まちづくり計画に基づいて、今年度は防災研修を計画的に行っているところ。先日にもまちづくり研修旅行として、香川の防災センターに行った。そこは消火器訓練、AED訓練、暴風体験などの体験的学習が出来る施設だった。倉敷にも同様の防災センターがあると聞く。防災、減災の観点から、体験的に学ぶことが出来る防災センターのような施設を福山にも作っていただけないか。
 - ・高松市では避難場所が交通標識に標示されていた。旅で来た人など、いつ災害に遭うかわからないので、災害時に、交通標識と一緒にここが避難場所だとあればと思う。作っていただけないか。
 - ・「子ども110番」は20年前に西深津を含む中央ブロックから始まり、今では全市に広がっている。また、子どもの居場所づくりのため、子ども土曜クラブを実施している。さらに独自の取組として、「いじめ子育て110番」を始め、これまでに寄せられた相談を全て解決した。心配をしているのは、毎月第3木曜日にある教職員一斉研修で、小中学校が午前中で終わる時に、それを悪用して、やんちゃなことしている子がいること。当然、我々青少年育成員協議会、青少年課などもパトロールしているが人手が足りていないので、いい方法があれば。
 - ・最近SNSで子どもの犯罪が見えてこない。それに対して市はどういう取組をするのか聞いてみたい。

- ・西深津小学校のPTA役員は全員女性で、男性はいない。どのようにお父さんの学校行事への参加を呼び掛けていくか、課題を頂いた。PTAでは、子どもの命を第一優先に、地域の方と一緒にあってストップマークを設置したり、パトロールしたりして協力いただいている。保護者も旗持ち当番をして声掛けさせていただいている。そして、地域の皆様にも見守っていただいている。その中で、放課後児童クラブが小学3年生までであるので、安心して子育てが出来る環境が出来ればと思っている。
- ・西深津小学校では、地域の皆様に支えられながら、様々な取組を行っている。先週には餅つき体験をさせていただき、年が明ければとんでもある。地域の中でも沢山勉強することがある。もちろん学校での勉強も頑張っている。やらされる勉強ではなく、自分から進んで勉強して新しいことを発見出来るようになりたい。そのために大切だなと思っているのは読書。本を沢山読むと、物の見方や考え方が膨らむ。西深津小学校でも、図書委員が図書館の利用者を増やすように取り組んでいる。しかし、残念ながら、学校の図書館には読みたい本が少ない。毎年新しい本を買っていただいているが、中々数が増えない。同時に、扱いがまずくて、沢山の本が傷んでいる実態がある。これは自分たちの課題。これからは、入るのが楽しみになるような図書館にしたいと思う。頑張るので、市長には新しい本を一冊でも多く買えるように、また新しい本棚が買えるように取組をしていただきたい。

＜市長のまとめ＞

- ・自治会の加入率については、まず、新興住宅地において、どういう取組が全戸加入に繋がったのか参考にさせてもらいたい。市営住宅は行政からもお願いしながら全戸加入へ繋げた。新たな取組として、自治会連合会と行政とともに、民間関係者と連携した集合住宅に対する加入促進策を考えている。参考にお話するが、川口東学区では、小学生で「子どもまちづくり推進委員会」を作り、清掃活動や夏祭りの企画をしたり、その他地域課題の解決に取り組んだりしている。すると、保護者が子どもの活動に引き連れられて入るようになった。これまでとは違う世代の取組を入れることが、子どもと高齢者の中間層を引き込むことに繋がる。頑張ってもらいたい。
- ・働き方改革というが、勤務時間のことでなく、地域に貢献することも会社で評価されるということも伝えていければいい。どういうところに言えば、それぞれの会社に伝わるのか考えたいと思う。
- ・高齢者への福祉については、色々な観点から高齢者の孤独を防止する取組をしている。おでかけ乗車券やあんま券を配布する取組もあれば、サロン活動、100歳体操にも市の助成は出ている。おでかけ乗車券をもうちょっと手厚くという意見も参考にして、全体としての福祉を高めたいと考えている。
- ・通学路の安全確保については、現在、病院の前の横断歩道はガス工事中であり、待避所を作る工事はその後ということになっている。今後の予定についての報告がなかったことはお詫びしたい。それ以外にも危険箇所を見つけたら、土木常設員を通じて市に伝えていただければ現場を確認する。ただその際には、地域の総意として優先順位付けをしたうえで、市に伝えていただければありがたい。少し待っていただくこともあるが、聞きっぱなしにすることはないようにする。
- ・蔵王山の整備については、まずクリーンハイキングをありがたく思う。遊歩道については、散策路の痛んでいるところは、優先順位の高いところから少しずつ修復する。クリーンハイクをしていただいて、ごみのない蔵王山になっていけばと思う。桜の植樹をするなど、地元の人と一緒にあって、協力をして、地域をきれいにしていくということも必要。
- ・体育館の老朽化については、色々な学区で同じ話を聞く。より危険度の高い所から、順次修理をする

よう取り組んでいる。その前に優先的に取り組むのが、耐震化とトイレの洋式化。そういうことを真っ先に取り組ながら床の整備もやっていく。西深津小学校の体育館は築38年となるが、工夫をしつつ使って欲しいと思う。事故が少ない体育活動に協力をしていただけるとありがたい。

- ・市老人会連合会の福祉大会、シルバーピックへの出席については、ぜひ来年は上手くやりくりをしながら皆さん方の元気なお姿を見させていただきたい。
- ・市立大学については、確かにグラウンドは遠いかもしれないが、特徴のある学部をすることによって、市外から生徒が来る素晴らしい大学に成長しつつある。良い面も見ていただきたい。出来るだけ効率的に、グラウンドとの間を行き来出来るようなやり方も工夫していく。
- ・防災センターの設置については、2つやり方があると思う。そういう建物を作って、体験をして備えるというのも重要。もう一つは、色々な学区の取組の機会に、消防署や消防団が行って消火器やAED、煙、豪雨の体験をしてもらうというのも可能。出前で出張していくことをやっている。そういう形で取り組ませていただきたい。
- ・交通標識へ避難所の標示をするということは私たちの発想になかった。福山なりのやり方でやってみたいと思う。確かに、例えば買い物にいった場所で地震があった、津波が来るとなったときに、そのあたりに住んでいる人以外には分からない。我々の取組の盲点だったかもしれない。対応したい。
- ・子どもたちの見守りや教育については、教師、保護者、地域の大人の三者が、それぞれ役割分担をして取組している。その中で、毎月第3木曜日の午後に教師の研修のための時間を頂いているが、その日に商業施設にいて、遊んでいる子どもを見かける、ということだった。勿論教師も見守りをしていて、色々な方々の協力を頂きながらやりたい。自治連や保護司会、警察関係者にも声掛けのお願いをしている。子どもたちが有効に時間を使えるように、地道に取り組みたい。
- ・教育と家庭をつなぐ大切な組織であるPTA。なかなかお父さんの協力が得られなくて女性の皆さんに奮闘していただいている。家庭の負担を軽減するために、放課後児童クラブの拡充に力を入れて取り組みたい。2019年度末までには、小学6年生まで受け入れることを目標に、施設の整備と、指導員の確保とに取り組んでいる。西深津では、まずは施設整備に取り組もうと考えている。
- ・小学校の図書館について具体的な提案をいただいたので、応えるような取組をしないといけないと本当に思った。蔵書を一挙に増やすというわけにはいかないが、それでも、児童の想いに沿った充実を図りたい。これには校長先生の判断も大きく反映するので、今日の話はしっかりと伝えたい。本が傷んでいるのは、自分たちにも責任があるかもしれないという率直な意見もいただいた。図書館補助員という方が、本の修理をして、いつまでも大切に読書が出来るように取り組んでくれているので、図書館補助員にも伝えて、良い図書館にしたい。本棚についても、どういう状況なのか確認をしたいと思う。ぜひ皆が広い視野を持って、立派な大人になってくれるような図書館づくりに取り組みたい。

<地域からのあいさつ>

忙しい中をこういう場を設けていただき、お礼を申し上げます。自助、共助、公助の中で、自助の十分なフォローと共助へ結ぶ、NPOやボランティアなどの必要性を感じます。彼らとの連携など、私たちが出来ることは何か考え、まちづくりに取り組み、課題が出ましたら相談・連携させていただきます。自らのまちは自らでつくるという原則を基本に自助、共助の活動を深め、頑張っていきたいと思っています。これからもよろしく申し上げます。